

2021年3月25日

各 位

太陽生命保険株式会社  
代表取締役社長 副島 直樹  
東京都中央区日本橋2丁目7番1号



## 太陽生命、「トヨタ自動車」が発行する 外貨建「サステナビリティボンド」への投資を実施

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島直樹）は、ESG投資の一環として、トヨタ自動車株式会社が発行する「サステナビリティボンド」（以下「本債券」）に、円建債券に引き続き外貨建債券への投資を決定いたしましたのでお知らせいたします。

本債券の調達資金は、「『交通事故死傷者ゼロ』に向けた、先進安全技術および高度運転支援技術の開発・製造」、「EVやFCVの開発・製造による、自動車走行時におけるCO2排出量の削減」「再生可能エネルギーに関する投資、支出、出資による、工場・事業所等におけるCO2排出量の削減」等に向けた事業に活用されます。

### <概要>

発行体：トヨタ自動車株式会社

名称：サステナビリティボンド（S&P格付：A+、Moody's格付：A1）

※国際資本市場協会（ICMA）制定の「サステナビリティボンド・ガイドライン」に適合し、環境および社会課題の解決に貢献するプロジェクトに資金使途を限定した債券

発行総額：5億米ドル（約545億円相当）※

※1ドル=109.10円で換算

償還期間：10年

当社は、2007年3月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則（PRI）」<sup>(\*)</sup>に署名し、環境（E）、社会（S）、企業統治（G）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。

太陽生命は、これからも責任ある機関投資家として、持続可能な社会の形成に貢献できるよう取組みを推進してまいります。

以上

<sup>(\*)</sup> 責任投資原則（PRI=Principles for Responsible Investment）とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治（ESG）の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。

